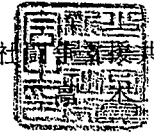


第5回少年写真新聞社闘争支援共闘会議総会

& 抗議デモ集会

参加のお願い

少年写真新聞社闘争支援共闘会議
議長 貞治

労組・分会各位

貴組合の日頃のご活躍に敬意を表します。

さて、少年写真新聞社は組合組織の解体を画策し、労働運動を誹謗中傷する怪文書を全社にばらまきました。さらに非組合員を使って高橋前分会長に対して執拗な個人攻撃を続け、ついに彼を病気休職に追い込みました。

このような会社側の労働組合潰しに対し、私たち分会は多くの仲間の支援で高橋の職場復帰を勝ち取り、会社側の描いた組合潰しのビジョンを破綻させました。

組合潰しの先頭に立った松本社長が昨年5月に亡くなって以降、労使は賃金・一時金交渉をするに至りました。しかし会社側は世代交代と遺産配分を進めるばかりで、争議解決・労使関係の正常化を図る意思など無く、自らの犯した組合潰し・人権侵害問題を風化させようとしています。

この問題について、私たち組合はあくまでも会社に解決を迫っていきます。そして一日も早くまともな労使関係を築き、長く安心して働ける職場作りを目指していく所存です。

つきましては、下記の通り少年写真新聞社闘争支援共闘会議総会及び抗議デモ集会を開催します。皆様の方強い結集をどうぞよろしくお願い致します。

-記-

日時:2007年 10月 2日(火)

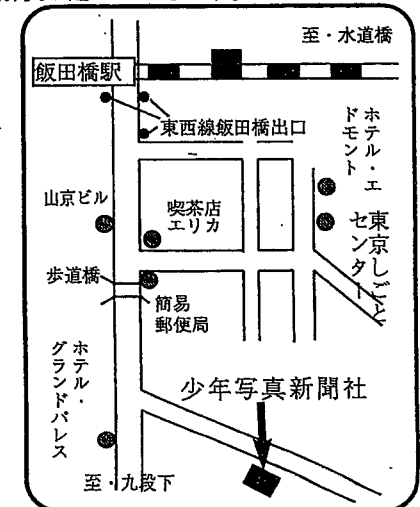
集会開始:18時30分

デモ出発:19時10分へ変更

場所:東京しごとセンター 地下講堂

連絡先:全国一般・全労働者組合

TEL 03-3234-1816



10.2

少年写真新聞社闘争と

書泉闘争の勝利へ!

九段-神保町地域デモに参加を!

第5回 少年写真新聞社闘争 支援共闘会議総会と 抗議デモ行動

全国一般全国協・東京労組と少年写真新聞社闘争支援共闘会議から10月2日の少年写真新聞社闘争と書泉闘争の集会とデモ行動(九段~神保町地域デモ)への参加要請が別紙の通りきています。闘争勝利のために、この集会とデモ行動に支援・連帯し、多くの仲間が結集されることを要請します。

少年写真新聞社闘争は、会社側の組合つぶし攻撃に対し、長期の総反撃の闘いで高橋分会長の職場復帰を勝ち取り、会社側の描いた組合つぶしのビジョンを破綻させてきました。組合つぶしの先頭に立った松本社長が昨年5月に亡くなり、労使交渉が開始されましたが、労使正常化を図る意志など全くない不当な対応に終始しています。

組合は、まともな労使関係の構築、安心して働ける職場作りを目指して闘っています。この支援共闘総会と社前抗議集会とデモ行動に支援連・帯しよう。

書泉経営側、書泉ブックドームを撤退

経営の失敗を全面的に労働者側に押しつける

「去る、8月初旬、書泉経営は川口にある書泉ブックドームの撤退を表明しました。ブックドームは、約8年前、書泉グループでは最大規模となる1000坪で出店しましたが、出店に際しては立地や規模に対するリスクの大きさに、社内からも疑問視する声があがりましたが、当時の社長は『皆さんには迷惑はかけない』と強気の発言を行い出店を強行しました。結果は、私たちの不安的中した形となり、多額の赤字を生み出し続けました。」
「そして、経営の失敗は、すべて私たちに押しつけられ、ここ数年は一時金が年間で10万円そこそこしか支給されず、出店前と比較して年収で30%近い賃金ダウンを強いられました。」(チラシより) 闘争勝利へ支援・連帯しよう。